

残り1か月、まとめをしよう大作戦！Part 1

各学校が卒業式の準備を進める時期になり、本年度も残り約1か月となりました。新型コロナウイルスに対する不安を感じながらの日々ですが、さまざまな工夫をし、本年度の教育課程の完了に向けた取組を進めておられることに感謝申し上げます。そのような中、局としてもこの時期にあった学校支援ができればと考えています。HPに掲載されるなど比較的容易に活用でき、1年間の学習内容のまとめや定着を確認するために使える教材を紹介します。既に取り組まれている学校に何うと、定着や復習などに大変有効であるとのことでした。ぜひ残り1か月のまとめとして、また春休みの家庭学習の参考としてご利用いただき、来年度の学びにつなげていきましょう。

授業や家庭学習でそのまま使える！ワークシート

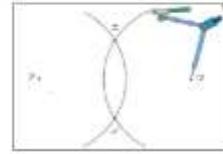
◆小学校算数単元到達度評価問題

各単元で身に付けるべき力を踏まえた授業実践を行うとともに、各単元末で到達度を確認するための問題。PDCAサイクルを確立し指導と評価の一体化を図ります。

- (例) ・家庭学習の課題として
・市販テストの前後で、確認プリントとしても



3. 下の図のように、点A、点Bを中心とする同じ半径の円をかき、交わった点をそれぞれ点Cと点Dとします。



(1) 4つの点、アイウエをつけてかいた四角形は何という四角形ですか。(答え1点)

(答え)

(2) (1)の四角形ができるわけをせつ明しましょう。(答え2点)

(せつ明)

(1) $\square + 0.8$ の商の大きさについて考えます。□には0でない数が入ります。下の1から3までの中から、正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。 レベル7

- + 0.8 の商は、□ より大きくなる。
- + 0.8 の商は、□ より小さくなる。
- + 0.8 の商は、□ と同じになる。

(答え)

(2) $2.1 \div 0.7$ を、「おられる数とある数に同じ数をかけても商は変わらない」というあり算の性質を使って、次のように計算します。 レベル6

◆コバトン問題集

(埼玉県教育委員会 HP 掲載)

学力レベルを意識した問題プリントです。小学校では、国語・算数・理科、中学校では国語・数学・理科・英語の問題が準備されています。

- (例) ・授業中の適用題として
・家庭学習の課題として
・活用する力を育てる問題作成の参考として

このレベルは、とっとり学力・学習状況調査の問題レベルと同じ基準で設定されています。



させるだけではなく、なぜ間違えたのか、どう考えるのかを指導することで、学力の確かな定着につながります。



情報リテラシーの指導を根気よく続けていくことが求められます。

使えるコンテンツ満載！教科書会社のHP

- ◇光村図書…「授業に役立つ！サポート資料室」。「教科書の言葉 Q&A」や「作者・筆者インタビュー」等。
- ◇啓林館…小学校算数・理科、中学校数学の「授業支援・サポート資料」。基礎定着ドリル、各章ごとの自己評価テスト、全国学力・学習状況調査をもとにした「教科書を活用した指導のポイント集」等。



タブレット等で学ぶ！

この1年で、児童生徒の端末活用の機会や内容が充実しました。個別最適な学びのスタイルとして、「タブレットドリル」「すらら」などのeラーニング教材をスキルタイムや授業、家庭学習等で活用し、復習に役立ててみましょう。

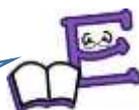


読書で表現力をつける！

「うち読書」

ある学校では、毎週末に家族と一緒に読書をする「うち読書」の取組を行っています。読書の楽しさを味わいながら、親子で会話することで、感じたことを表現する力もつきます。

月1回、年に数回実施している学校もあります。



R3 研修パッケージ

全国学力・学習状況調査の結果から、学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについて考える。

クラスコード【cicedgt】

※研修パッケージを活用された後は、アンケートへの入力も忘れずをお願いします